

# 週間漁海況情報—第17号

平成26年4月28日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

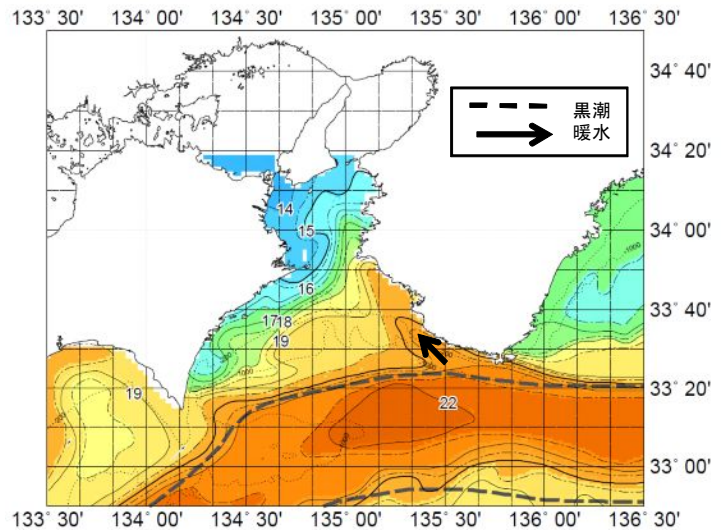
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課

## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.4.28）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、概ね21℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で13℃台、紀伊水道では13～17℃台、海部沿岸は14～16℃台の低水温であり、紀伊水道外域では和歌山県沿岸から反時計回りの暖流流入がある。

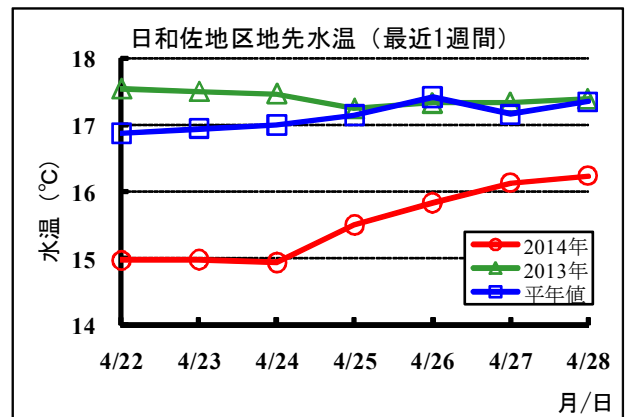
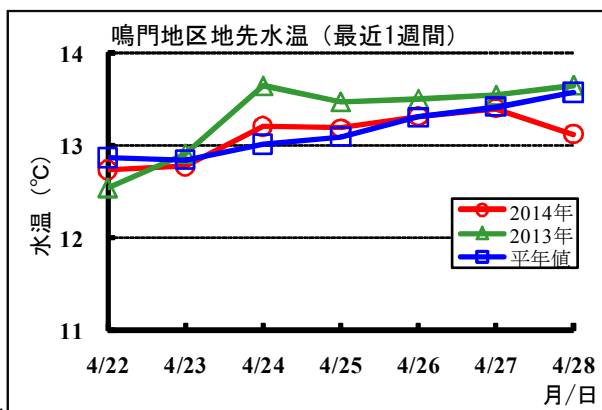


漁業調査船「とくしま」で4月16、17、23日に行った海部沿岸海区の海洋観測では、0～30m層は「平年並み」の16.9～16.6℃、50～100m層は「やや高め」の17.3～16.6℃であった。

### 海部沿岸海区観測結果

観測日	水 温						塩 分						
	表層	10m	20m	30m	50m	100m	表層	10m	20m	30m	50m	100m	
4/16,	今年値	16.9	16.7	16.6	16.7	17.3	16.6	33.9	34.0	34.1	34.2	34.5	34.5
17,23	平年偏差	-0.2	-0.3	-0.4	-0.2	0.5	0.9	-0.3	-0.3	-0.3	-0.3	0.0	0.0
	前年偏差	-1.5	-1.5	-1.6	-1.3	-0.7	0.1	-0.4	-0.4	-0.4	-0.2	0.0	0.0

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並」の12.7～13.4℃、日和佐地区は「低め」～「やや低め」の14.9～16.2℃、牟岐地区は「低め」～「やや低め」の14.8～16.3℃で推移した。



\* 平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

\* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

## 2. 漁況の経過

**延縄**：海部沿岸で中主体にアカムツが0.3トン(1日1隻当たり14kg)、大主体にキダイが0.4トン(同11kg)水揚げされた。

**小型定置網**：海部沿岸でマイワシが0.6トン(同39kg)、ウルメイワシが0.8トン(同30kg)、カタクチイワシが0.7トン(同31kg)、マアジが1.0トン(同40kg)、小小主体にマサバが1.0トン(同38kg)、キビナゴが0.9トン(同36kg)水揚げされた。

**大型定置網**：海部沿岸で中主体にカワハギが0.3トン(同40kg)、大主体にサワラが0.6トン(同87kg)、中主体にヒラマサが0.5トン(同68kg)、中主体にマダイが0.4トン(同63kg)、ハマチが4.2トン(同604kg)、メジロが0.2トン(同35kg)水揚げされた。

**釣り**：海部沿岸で大主体にサワラが0.9トン(同61kg)、特大主体にタチウオが0.5トン(同11kg)、ハマチが0.5トン(同24kg)、紀伊水道でタチウオが0.9トン(同37kg)水揚げされた。

**パッチ網**：紀伊水道でシラスが10.3トン(同239kg)水揚げされた。

漁業種類別集計表(抜粋) 2014年4月21日～2014年4月27日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	24	343	14	中主体
		キダイ	36	411	11	大主体
小型定置網		マイワシ	15	591	39	
		ウルメイワシ	26	776	30	
		カタクチイワシ	24	744	31	
		マアジ	26	1,038	40	
		マサバ	27	1,037	38	小小主体
		キビナゴ	24	867	36	
		大型定置網	カワハギ	7	280	40
サワラ			7	610	87	大主体
ヒラマサ			7	476	68	中主体
マダイ			7	442	63	中主体
ハマチ			7	4,229	604	
メジロ			7	244	35	
釣り	紀伊水道	サワラ	15	911	61	大主体
		タチウオ	50	536	11	特大主体
		ハマチ	20	479	24	
タチウオ		24	879	37		
パッチ網		シラス	43	10,275	239	

**昨年同時期の主な漁獲傾向**：昨年の4月22日～4月28日には、海部沿岸では、延縄で中主体にアマダイが0.3トン、中・小主体にアカムツが0.2トン水揚げされた。小型定置網でマメ主体にマアジが1.2トン、小主体にマルアジが0.3トン、カタクチイワシが2.3トン、キビナゴが0.7トン、マルソウダが3.6トン、アオリイカが0.3トン水揚げされた。大型定置網で、特大・大主体にマアジが3.3トン、小小主体にマルアジが2.6トン、小主体にゴマサバが0.3トン、30kg弱主体のクロマグロが0.3トン、特大主体にタチウオが0.2トン、ブリが2.1トン、メジロが1.4トン、ハマチが2.6トン、中主体にヒラマサが1.4トン、大主体にイシダイが0.2トン、中主体にクロダイが0.4トン、小主体にシイラが4.0トン水揚げされた。釣りでは中主体にカツオが4.0トン、大・中主体にキハダが0.4トン、特大主体にタチウオが0.2トン水揚げされた。紀伊水道では、パッチ網でシラスが2.6トン水揚げされた。

**週間予報**：黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の13～14℃台、日和佐地先で「低め」～「やや低め」の16～17℃台で推移する見込み。